

ひまわり



令和7年度 第1号
大道小学校便り
令和7年5月7日
文責 山西 ふじ子

ごあいさつ

大道小学校の校長2年目を迎えました山西です。

令和7年度も「ひまわりのように咲く子どもを育てる」を学校教育目標に掲げ、校訓にある「やさしく」「かしく」「たくましく」を、目指す子どもの姿として、子ども達に語りかけています。

入学式でも、1年生へのお願い事として、（やさしく）お友達へやさしくしよう。みんなの心をぽかぽかにするあいさつをしよう。（かしく）お話をよくきいて、善いことと悪いことが分かる人になろう。（たくましく）早寝早起きをして元気に登校しよう。給食をもりもり食べて、しっかり遊ぼう。という、3本のひまわりをお願いをしたところです。



令和7年度入学式の様子↑

教職員には「すべてのひまわりの可能性を信じて咲かせよう」という教育方針を伝えました。夢や目標を抱き、その達成に向けて努力する子ども達。その可能性を信じて、全職員一丸となって、教育、支援をしていきたいと考えています。

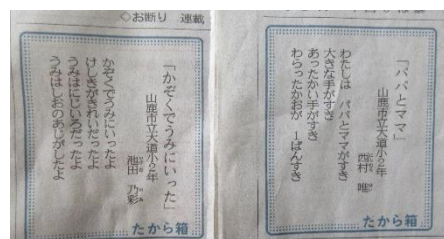
日頃より温かい眼差しで子ども達を見守り、様々な教育活動に応援をいただいている地域の皆様、学校教育にご理解をいただきながら、しっかりとした家庭教育をされている保護者の皆様に敬意を表しつつ、今年度の学校教育へのご理解とご協力を改めてお願いいたします。

アウトプット

熊本日新聞の1面「たから箱」に、4月1日から4月24日にわたって、大道小学校の子ども達が書いた作品が掲載されました。新聞に掲載されたのは20名でしたが、

現在の2年～6年までの全児童が取り組みました。それぞれに家族との何気ない会話や自分の夢、熱中していることなど、素直な気持ちが綴られており、それぞれの個性が光っていました。

勉強して、情報や知識を得る（インプットする）だけでなく、学習や経験で得たものを生かして、自分の考えや思いを表現する（アウトプット）も大切にして、学びを深めています。今回、新聞を見られた地域の方や大道小学校にゆかりのある方から、「毎日楽しみにしています」「子ども達頑張っていますね」など、激励やお褒めの言葉をいただきました。子ども達の頑張りを知っていただく機会ともなり、新年度早々、大変嬉しいニュースとなりました。



「たから箱」の作品の一部↑

新リーダー

4月18日に行われた「1年生を迎える会」。6年生の細やかで、アイデア満載の計画と配慮により、大変楽しく和やかな時間を過ごすことができました。6年生にとっては、初めての行事運営でしたが、短い期間で、会の進行やゲームの企画、他学年への協力依頼など、よくがんばってくれました。進行役としてマイクを握る人たちの緊張感も感じましたが、1年生と目線を合わせたり、笑顔で質問をしたり、答えをフォローしたりと、1年生を緊張させない工夫が随所に見られ、見ていて、とても温かい気持ちになりました。

